



《問題②の解答》

3,4,6,7,10(順不同)

《問題②の解説》

- ③ 横吊りクランプを1個で使用している
一般社団法人 日本クレーン協会のホームページに「玉掛けに関する知識」として、具体的な使用方法や注意事項が掲載されており、クランプの**1点吊り**は禁止されています。
- ④ H型鋼に介錯ロープが取付けられていない
法令での規制はありませんが、玉掛け作業時の荷には荷振れ・回転による事故防止のため、必ず介錯ロープを取り付けましょう。
- ⑥ 鋼管の玉掛ワイヤーの绞り方向が同方向になっている
一般社団法人 日本クレーン協会のホームページの「玉掛けに関する知識」に「**2点づりするとき、つり荷により、绞りの向きを考慮すること。荷が回転したりねじれたりする。**」とあります。
- ⑦ 親綱が途切れる箇所で安全帯を二丁掛で使用していない
法令での規制はありませんが、一般社団法人 日本クレーン協会のホームページに掲載されている「安全帯の正しい使い方-安全帯の選定方法と使用時の注意事項等」にて無胴綱状態を無くし、より安全性を高める目的で「**ダブルランヤード式安全帯(通称:二丁掛け)**」での使用が推奨されています。
- ⑩ 親綱の高さが低過ぎる
法令での規制はありませんが、⑦同様「安全帯の正しい使い方-安全帯の選定方法と使用時の注意事項等」に使用時の注意事項として、安全帯のフックは「**D環より高い位置に掛け、墜落阻止時に加わる衝撃荷重を低く抑えるようにする。フックの掛ける位置によって衝撃荷重値が大きく相違することを理解することが必要である。**」とあり、D環の高さでの人体に加わる衝撃荷重を1とすると、D環より1m高い位置では0.6、D環より1m低い位置では1.6になることが掲載されています。